

会 議 録

会議の名称	茨木市中心市街地活性化協議会
開催日時	平成 30 年 2 月 16 日(金曜日) 開始 10:00 ～ 終了 11:15
開催場所	茨木市役所南館 6 階第 1 会議室
会 長	山野 寿
出席者	〔協議会構成員〕 木村 正文（茨木商工会議所 専務理事）（協議会副会長） 鎌谷 博人（茨木市 都市整備部 部長）（協議会副会長） 小池 伸一（（一社）茨木市観光協会 事務局長）代理 山本 博史（追手門学院大学 地域創造学部 教授） 山田 久敬（茨木市商業団体連合会 会長） （以上、計 5 名）
事務局	茨木商工会議所 鳥山次長 茨木市 商工労政課 徳永課長 茨木市 市街地新生課 福田課長、荒木グループ長、黒葛原氏、森氏
議題	1) 内閣府協議結果の概要報告と対応について 2) 中心市街地の現状と課題等について
配布資料	資料 1) 内閣府協議 概要と対応 資料 2) 現状分析と課題・方針、 資料 3) 内閣府提出予定資料 資料 4) 基本計画策定スケジュール 参考 1) 空き店舗調査概要
議 題 の 経 過	
発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
（1）開会 事務局 只今から茨木市中心市街地活性化協議会を開会する。 山野会長が欠席のため開会にあたり、木村副会長からご挨拶を頂戴する。 木村副会長 （あいさつ） 事務局 本日の出席状況をご報告させて頂く。委員総数 7 名のうち、5 名の委員にご出席頂いている。第 10 条第 4 項の規約により本会議は成立している。 また第 10 条第 3 項により、会長は山野会長であるが、進行は市に一任されている。 事務局 本日の議題は、 1) 内閣府協議結果の概要報告と対応について 2) 中心市街地の現状と課題等について 事務局 （内閣府協議結果の概要報告と対応、中心市街地の現状と課題等について説明） 事務局 説明に対する質問等はあるか。 山田委員 飲食店のニーズが高いとのことであるが、貸主の方は飲食店を敬遠する傾向にある。また、商店街の既存店舗との業種の兼ね合いで出店が難しい場合もある。 事務局 飲食店を出店したいという方は多いのか。 山田委員 値段さえ合えば、起業したいという方は多い。	

木村副会長 市民は飲食店が欲しいというが、どんな飲食店が欲しいのか。欲しいから作ったとしても実際には行かないということも考えられる。具体的なイメージを分析をした上で、事業を考える必要がある。資料の表記も工夫されたい。

事務局 承知した。

山田委員 流行っている店でも回転率が悪く、業態を変更する店もある。ニーズに合致して、客が入ってたとしても採算が取れず、経営が苦しい場合も考えられる。

事務局 メイン通りの家賃が高いところで長時間滞在されると採算として厳しいものがあると思われる。少し離れたところからアプローチしていければと考えている。

鎌谷副会長 アンケートをすると欲しいという声が挙がるが、実際には利用しないことが多々ある。

木村副会長 他市の事例で映画館が欲しいという声が多く、実際に作ったが利用者が少なく撤退した事例がある。

事務局 単純に飲食ということではなく、「どんな」というニーズを分析する必要がある。

木村副会長 エリアによっては飲食だけでなく日用雑貨などのニーズもあるのでは。

事務局 (他市での視察結果を報告)

木村副会長 オーナーの意向もあって業種の指定が難しいということもあるが、1つ成功事例を見せることでまちづくり会社に任せてもらえるようになってくれば理想である。

事務局 人口も増えてはいるものの、単身世帯が多く、昼間に比較的自由に動ける子育て世代や主婦層を対象にした取組が必要と考えている。

木村副会長 立命館内のレストランも少し高めの値段設定であるが昼間は賑っている。ちょっと高い値段を払ってでもゆったりと質の高い時間を過ごすことを望まれているのかもしれない。

山田委員 たまにの機会であれば高級なものも成り立つのでは。

木村副会長 頻度は見極める必要がある。

山田委員 まちづくり会社の設立は確定か。

事務局 あくまでも課題を解決するための案の1つであり、今後協議を進めていく中で、この手法が良いということであれば設立に向けて動いていくことになる。

山田委員 市が引っ張っていく形になるのか。

事務局 市もちろん出資することになると思うが、後方支援がメインである。出資も金融機関や企業、商店街など様々な形のケースが見られる。

木村副会長 空き店舗に関する調査もやられているが、完全に店舗ではなくなっているところもあり、実際の感覚と数値がずれるかもしれない。

事務局 完全にマンションになっているとかであればわかりやすいが、店舗併用住宅はわかりにくい。

(11 時 15 分閉会)

以上